

靜岡縣大宮町附近の石器時代遺跡に就きて

四五八

○大宮町星山桑園及芋畑 多數の無蓋の石鏃及黑曜石破片及繩紋土器この石鏃の中に黑曜石ならざる、樹狀無蓋有孔粘板岩製の石鏃がある、形は骨鏃に類似して居る(赤池長重氏保有)

○大宮町淺間神社の裏桑園 小數の繩紋土器 多數の彌生式土器 小數の祝部土器

○攝社二ノ宮神社裏畑 多數の彌生式土器 少數祝部土器

○大宮町立宿 禰知神社裏 桑園 多數の彌生式土器 少數の祝部土器

○大宮町富士見町裏 貴船神社周圍の江田 彌生式土器

○大宮町貴船町 電線路兩側の桑園 彌生式土器

○大宮町羽衣町裏 近藤八郎平氏宅より中里に通ずる道の兩側 彌生式土器

○大宮町淺間神社裏の蠶業會社裏 少數の繩紋土器 多數の彌生式土器 祝部土器

○淺間神社の森の側畑地 少數の繩紋土器 多數の彌生式土器 祝部土器

○蠶業會社前 小野金六氏別荘裏 多數の彌生式土器

○城山町小金澤主典社宅の南 彌生式土器 祝部土器

○城山町望月病院南方畑 祝部土器

○大宮町北神田 横關酒造店酒倉裏空地 彌生式土器

○大宮町淺間神社 森の中 彌生式土器

○大宮町宮本 佐野病院敷地 彌生式土器

○大宮町立宿 梁瀨病院裏及前 彌生式土器

○攝社若の宮神社周圍 彌生式土器

○大頂の裏及前の畑 少數の彌生式土器

○富士根村小泉の一部(大宮町阿幸地欠畑に接せる部分) 彌生式土器 黑曜石の破片

○鷹岡村天間横道佐藤病院南方の陸稻の畑 多數の繩紋土器 黑曜石破片 石錐 石臼の破片 石棒

此の鷹岡村天間は從來の繩紋土器を出せる大宮町野中、黒田等より發見せる土器の紋様より更に豪壯なるものがあり從來の土器中最も美術的の形をなせるものである。

(靜岡縣大宮町)

新 著

足立文太郎著 日本人體質之研究

著者が小金井博士と相並んで日本の體質人類學に貢獻されたことは誰も知る所である。ことに著者足立博士は軟部人類學の創設者として世界の權威者である。日本人の軟部人類學上の研究は目下著しく進歩した。此の分で進んで行けば日本人解剖學は私が初め豫想したよりも早く或程度の完全に達せられようである。」と自らいはれたのも博士あればこそである。

著者の軟部人類學は明治二十九年本邦人脈管調査第一報を發

表されたのに端を發し、その後或は脈管に或は筋肉に付いて人種的の異同をきはめられて、數十の論文となつてあらはれたのである。本書はこれらの中邦文で書かれたものを集めた論文集である。内容を三部に分ち、最初は通論として人類上の日本人の位置、統計上の數の取扱ひ等を細かく解り易くかゝれたものを以てあて、次に各論として軟部人類學の論文を始め、有名な中國頭蓋、臺灣蕃人頭蓋の研究、眼窠の研究その他骨格に關するもの、小兒臀部の青斑並びに生殖器に關する研究等原著を大體分類掲載され、本書の主體をなしてゐる。最後は人類學に關する雜録となつてゐる。詳しい内容の紹介は避けるとするが、何れも著者の心血をそゝがれたものであることは論をまたぬ。その現はれが論文の内容以外に我々を誘導することが多いし、又明治から大正に互つての日本の人類學の推移を知らうとするには小金井博士の「人類學研究」と共に是非とも讀まねばならぬものである。

本書は三百部の限定出版である。装幀、製本共に立派で丈夫である。只誤植がかなりあるのが遺憾に堪えぬ所である。(定價十五圓、東京市神田區駿河臺北甲賀町同書院發行)(大島)

VERRILL, A. H. The American Indian—North, South and Central America: D. Appleton and Co., New York

新 著

PLS 1971 (代價三ドル五〇セント)

著者は有名な動物學者 A. F. Verrill の子で當年五十八歳、十八歳のときから西印度、中央アメリカ、南アメリカの地に住み親しく土人の生活を觀察し畫もかけば筆をとつては海賊物語、鯨とり物語、ガソリンエンジンからラヂオ何んでもかき天然色印刷を發明しマングースに喰ひ殺され絶滅になつたと思はれてゐたソレノドン(食蟲類)をセント、トミンゴに發見し昆蟲學鳥學にもかなり造詣が深い、一九二四年以來はニューヨークのインデヤン博物館に居を占めて居る。

去年一般の讀者にインデヤンを紹介する意味で本書を著した、四八五ページで著者自身撮影した寫眞や、自身かいた挿圖もある全體を二十四章に分ち始めの十一章は一般にインデヤンの文化を示し以下地方別けにして各族の生活狀態を詳述してゐる、二十二、二十三の二章に中央及び南米のインデヤンを記述してゐるのは著者の専門から云ふと權衡がとれてゐないようであるが讀者の興味が主として北米の「赤人」にあるのであるから止を得ないことであらう。各地方の種族の文化を示すときに圖版を挿んで一見比較に便にしてゐるのは面白い、例へばカヌー二十三種、モツカシン十四種赤坊を背負ふ板十七種、頭の裝飾六十種の如きである。本書の内容の如き専門家には、熟知のことであらうが素人が、アメリカのインデヤンに就ての知識を